



2021年度ロジスティクス大賞  
受賞

輸送影響リスクを提供し、  
命と荷物を守る  
輸送判断をサポート。



悪天候時輸送安全支援サービス

**Go STOP**

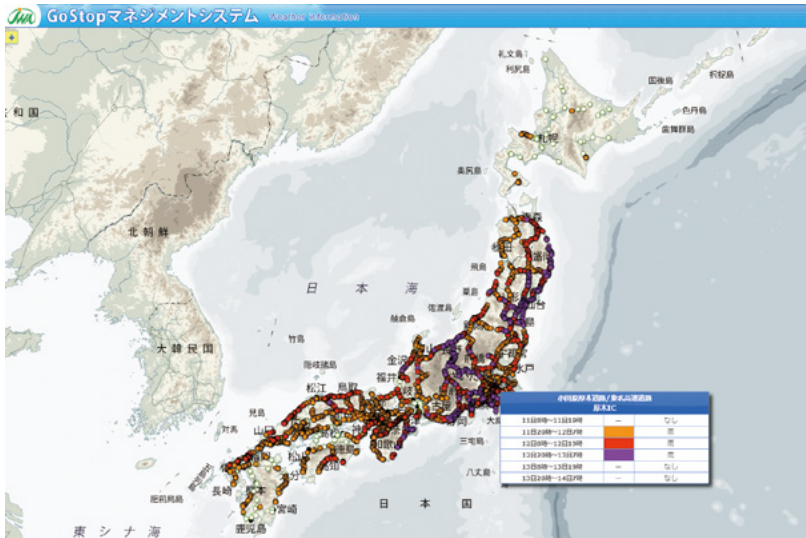




気象状況が道路に与える輸送影響リスクをいち早く捉え、ドライバーと貨物を守るための輸送判断を支援します。



「GoStop マネジメントシステム」は全国的高速道路、主要国道を対象に、気象状況が道路に与える輸送影響リスクを、悪天候の72時間前から地図や表によりひと目で確認できるWeb サービスです。各路線のIC(インターチェンジ)や区間ごとに、5つの気象要素(雨、風、雪、吹雪、越波)による輸送影響リスクを、1時間単位で把握します。これにより悪天候時の配送計画の変更や輸送可否の判断、ドライバーの安全確保に役立ちます。また、台風や大雪などシビアな気象に対して最大1週間前から詳細な情報を提供し、関係機関とのスムーズな調整を支援します。



### 事例 令和元年 東日本台風のリスク予測

令和元年(2019年)10月12日(土)の19時頃に伊豆半島に上陸した台風第19号(のちに令和元年東日本台風と命名)は、東日本の広範囲に甚大な被害をもたらしました。「GoStop マネジメントシステム」を使った情報分析では、台風の影響で高速道路の通行止めが相次いだ関東甲信地方や東北地方において、上陸の3日前からリスクを把握し、図の通り約1日半前の時点で輸送影響リスクを高く表現しました。

「GoStop マネジメントシステム」表示画面(2019年10月11日8時に予測される12日19時の様子)

### 輸送判断に必要な情報が1つのサイトに集約



今後予測されるリスクや天候の見通し、警報発表状況、道路状況など物流に特化した気象と道路の情報が1つのサイトで閲覧可能です。これにより情報収集時間が短縮でき、ひと目で必要な情報を入手できます。

### 高速道路の影響リスクを72時間先まで予測



「ホワイト物流」推進運動の「異常気象時等の運行の中止・中断等」や「輸送措置の目安」に沿って行動する際に、輸送判断根拠を明確にし、余裕を持った対応を可能にします。

### 輸送可否の判断を支援する情報の提供



6日先予報、事前対策情報は荷主企業や納品先への客観的な説明資料になります。さらに、荷主と物流事業者とが協力して事前対策を行う場合の支援情報となり、貨物の損失リスク回避やドライバーの安全確保に貢献します。



### 2021年度ロジスティクス大賞 受賞

「GoStop マネジメントシステム」は「ホワイト物流」推進運動の取り組み項目「異常気象時等の運行の中止・中断等」を推進する優れた取り組みであること、気象リスクを把握し、物流事業者と荷主企業が協力して対応を行うことを可能とする新しいサービスであることが高く評価されました。

お問い合わせ先

一般財団法人 日本気象協会 社会・防災事業部 営業課  
〒170-6055 東京都豊島区東池袋3-1-1サンシャイン60 55階  
TEL: 03-5958-8143 E-mail: gostop@jwa.or.jp



詳しくはこちら

